

研究名

カテーテル関連血流感染におけるタゾバクタム/ピペラシリン・バンコマイシン併用群と
メロペネム・バンコマイシン併用群の急性腎障害発症リスクの比較検討

1. 研究の対象

2020年4月から2024年4月の期間にとしてCRBSIまたはその疑いに対して、TAZ/PIPC+VCM併用療法またはMEPM+VCM併用療法が行われた成人入院患者

2. 研究目的・方法

カテーテル関連血流感染（CRBSI）は重要な医療関連感染であり、Empiric therapyとしてTAZ/PIPC+VCM併用療法もしくはMEPM+VCM併用療法が推奨されている。一方、TAZ/PIPCとVCMの併用は、他の広域抗菌薬との併用療法と比べ急性腎障害（AKI）を引き起こすことが報告されている。そこで、当院CRBSI患者におけるTAZ/PIPC+VCM併用療法とMEPM+VCM併用療法のAKI発症リスクについて比較検討した。患者背景、血清クレアチニン値（sCr）の推移、VCMトラフ値、腎毒性薬剤使用の有無について電子カルテを用いて後方視的に調査した。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 木原 星衣

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 木原 星衣